

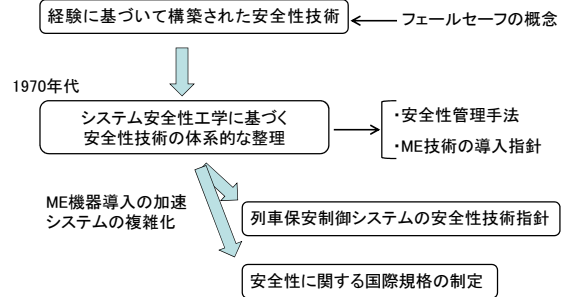
鉄道信号システムの安全性評価

信号・情報技術研究部(列車制御)

福田光芳

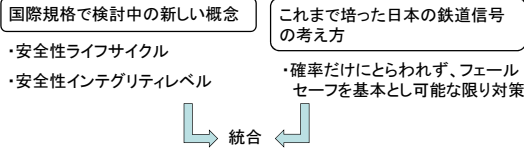


安全性に関する考え方の変遷

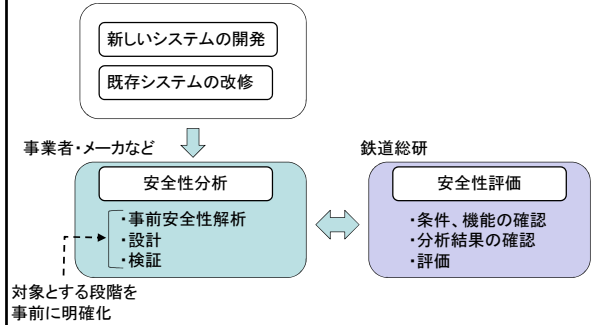


列車保安制御システムの 安全性技術指針

- 列車保安制御の安全性技術検討委員会
 - 学識経験者、鉄道事業者(JR、公民鉄)、メーカ
 - 鉄道総研(事務局)
 - ガイドラインとして1996年に発行



鉄道総研における安全性評価業務



鉄道総研における安全性評価業務

- 第三者として、技術的な観点で安全上の問題がないことを確認
 - 技術指針、国際規格に示される技術を考慮
 - 手順、手続きの正しさをチェックするものではない

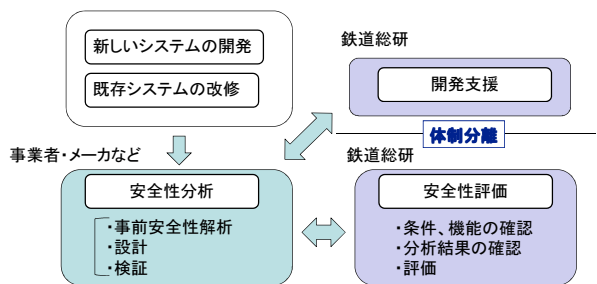


安全性評価の流れ

- 対象とする開発の段階の決定
- 対象とするシステムの範囲の決定
- 安全性評価対象資料の確認
 - 条件、機能の確認
 - 安全性分析結果の確認
- 評価報告書の作成
 - 内容の確認(誤解はないか)
 - 評価報告書の提出



安全性評価と開発支援



鉄道総研における開発支援

- 安全性評価と開発支援の独立性を確保
 - 別グループ(研究室)で実施
 - 安全性の考え方、適用する安全性技術
 - 開発そのものの支援
 - ATC/ATS、軌道回路、転換鎖錠装置
 - 無線を用いた列車制御、車上位置検知手法
- オブザーバ ←————→ 主体的な開発
必要な体制で支援

